

2026 年 1 月 6 日

お米支援活動 現場レポート

株式会社ヤオコーでは、2020 年 9 月、埼玉県、埼玉県社会福祉協議会、アサヒロジスティクス株式会社のご協力のもと、埼玉県内で生活にお困りの子育て世帯を対象としたお米の支援を開始しました。その後、2021 年 3 月に「一般財団法人ヤオコー子ども支援財団」を設立し、同年 9 月より本財団がこのお米支援の活動を引き継いでいます。さらに、2023 年 3 月には公益財団法人へ移行し、現在は公益財団法人ヤオコー子ども支援財団が主体となって、毎月 1 回、埼玉県福祉部こども支援課を通じて、NPO 法人埼玉フードパントリーネットワークおよび一般社団法人埼玉県子ども食堂ネットワークのご協力のもと、県内各地のフードパントリーや子ども食堂へお米をお届けしています。物流拠点での荷受けや仕分け、配送、現地での配布まで、多くの関係者が連携しながら現場で支援活動が行われています。また、2025 年 5 月からは、一部メーカー様のご協力により、賞味期限間近の商品をご提供いただき、お米支援とあわせてお届けする取り組みも始まりました。現場の状況に応じて工夫を重ねながら、支援の幅を広げています。

お米の支援		配布エリア	個数	箱数	こども食堂	フードパントリー	配布団体合計	※他非加入3団体あり
50	2025年10月	北本市	200	1,000	32	5	37	
51	2025年11月	鶴ヶ島市	200	1,000	29	9	38	
52	2025年12月	さいたま市	200	1,000	26	11	37	



公益財団法人

ヤオコー子ども支援財団

2025 年 10 月 北本エリア 200 袋 1,000kg



北本エリアの中間拠点は、ヤオコー北本中央店の納品口のお隣に位置しています。

毎回、スタッフの皆さまが手際よく荷卸し・配布を行ってくださり、作業は非常にスムーズに進んでいます。施設の入口には本棚が設置されており、来所された方が自由に読むことができます。大人向けの書籍を中心とした、落ち着いた素敵なラインナップが印象的でした。今回もお米に加え、賞味期限間近の提供品をお届けすることができ、こちらはフードパントリー団体の皆さまへお渡ししました。なお、ネットワークに未加入の3団体様につきましては、お米のみの配布となっています。



公益財団法人

ヤオコー子ども支援財団

2025 年 11 月 鶴ヶ島エリア 200 袋 1,000kg



今回は、複数の企業様のご協力により、非常に盛りだくさんの食支援を実施することができました。

主食となるお米に加え、COEDO ビール様×ヤオコーコラボ商品の寄付として「くだものゼリー」をはじめ、チョコレートやお菓子類、スパゲッティ、また賞味期限間近の提供品など、幅広い食品をお届けしています。毎年 11 月に開催しているヤオコーパントリーでご提供いただいたお菓子の一部は、数が多かったため、11 月のお米支援とあわせてお届けしました。

賞味期限間近の提供品については、ふりかけ・おかき・チョコレート・即席麺などをご提供いただきました。

今回は「くだものゼリー」の数量が多かったことから、フードパントリーについては 2 か所に分けてお届けしました。鶴ヶ島エリアのフードパントリーは登録団体数が限られているため、一度に多くの食品をお渡しすることによるリスクも考慮し、三芳エリアと分配しています。一方、子ども食堂については登録数が多いことから、鶴ヶ島エリア 1 か所で受け取っていただきました。

また、荷卸しの際には、上板塑性様に倉庫をお借りするなど、多くの皆さまのご協力に支えられて実施することができました。

当日はアサヒロジスティクス様のトラックに、マグネット式の財団ロゴを貼付して運行しており、体験支援時にご用意いただいているマイクロバス用として制作してくださったものです。

改めて、ご支援・ご協力をいただいたすべての皆さまに心より感謝申し上げます。



公益財団法人

ヤオコー子ども支援財団

2025 年 12 月 さいたまエリア 200 袋 1,000kg



今年最後のお米支援も、盛沢山の内容でお届けすることができました。

主食となるお米に加え、COEDO ビール様×ヤオコーコラボ商品の寄付としてレトルトカレー、キリンビバレッジ様からは「おいしい免疫ケア」、またサッポロビール様・国分関信越様・ヤオコー200 店記念缶に関連した寄付として、スープや麦茶、くだものゼリーなど、幅広い食品をご提供いただいています。

このほか、賞味期限間近の提供品として、お菓子や調味料のご提供がありました。これらの提供品については、フードパントリー団体様へのみ配布しています。

また、小川貿易からはスパゲッティの寄付もあり、支援内容に広がりのある回となりました。

物流面では、狭山物流センターにて伊藤忠食品狭山グロッサリーセンター様をはじめ、関係各所のご協力のもと荷受けを行い、アサヒロジスティクス様のトラックでお届けしました。

荷卸し拠点となった駐車場につきましては、さがみ典礼様に無償でお貸しいただいています。

当日は冷たい風が吹く中、さいたまエリアのボランティアの皆さまが、荷卸しやトラック誘導などに尽力してくださいました。今年を締めくくる支援を、今回も多くの方々のご協力により実施することができました。心より感謝申し上げます。